

日本病院薬剤師会

平成29年6月22日

会員 各位

一般社団法人 日本病院薬剤師会
会長 木平 健治
薬学教育委員会 委員長 石井 伊都子

改訂薬学教育モデルコア・カリキュラムに準拠した病院実務実習の評価について

平素より、日本病院薬剤師会にご高配を賜り御礼申し上げます。

さて、本会では、平成31年度から開始される改訂薬学教育モデルコア・カリキュラムに準拠した病院実務実習の評価基準を作成いたしました。

つきましては、下記の資料をダウンロードしていただき、各施設でのトライアルをお願いしたいと思います。

また、トライアル結果を本会へフィードバックする入力フォームをweb上で作成いたしましたので、アクセスしていただきご意見を入力していただきますようお願いいたします。

<ダウンロード可能な資料>

1：病院実務実習評価原案_H29日病薬版



2：病院実務実習評価原案_H29日病薬版一簡易版（評価の項目のみ抽出しました）



3：代表的8疾患に分類される具体例



<トライアル結果のフィードバック入力フォーム>

<https://goo.gl/forms/1GbEFbmhgz0jEDsr2>

この評価基準は、最終的な点数を学生につける目的ではありません。学生が実習を通して成長できるように、薬剤師が指導するための指針にもなります。学生にあらかじめ評価基準を提示し、ステップアップには何が必要か学生と話し合いながら実習を進めていただきたいと思います。この新しい評価法のねらいについて詳しくは、日本病院薬剤師会雑誌第53巻7号（2017年7月1日発行）p.829-836の総説をご参照ください。

なお、病院実務実習に関する施設票につきましても、随時更新していただきますようお願い申し上げます。

【問い合わせ先】

一般社団法人 日本病院薬剤師会 事務局 学術課

TEL：03-3406-0485

E mail：gaku@jshp.or.jp



病院実務実習評価原案_H29日病薬版

F 薬学臨床

G10 患者・生活者本位の視点に立ち、薬剤師として病院や薬局などの臨床現場で活躍するために、薬物療法の実践と、チーム医療・地域保健医療への参画に必要な基本的事項を修得する。
 ※F薬学臨床における代表的な疾患は、がん、高血圧症、糖尿病、心疾患、脳血管障害、精神神経疾患、免疫・アレルギー疾患、感染症とする。病院・薬局の実務実習においては、これら疾患を持つ患者の薬物治療に継続的に広く関わること。

(1) 薬学臨床の基礎

G10 医療の担い手として求められる活動を適切な態度で実践するために、薬剤師の活躍する臨床現場で必要な心構えと薬学的管理の基本的な流れを把握する。

		【①早期臨床体験】 ※原則として2年次修了までに学習する事項			
	大学	薬局	病院	薬局	病院
SBO-s885	患者・生活者の視点に立って、様々な薬剤師の業務を見出し、その体験から薬剤師業務の重要性について討議する。(知識・態度)	◎ ○ ○	◎ ○ ○	◎ ○ ○	◎ ○ ○
SBO-s886	地域の保健・福祉を見聞した具体的体験に基づきその重要性や課題を討議する。(知識・態度)	◎ ○ ○	◎ ○ ○	◎ ○ ○	◎ ○ ○
SBO-s887	1 一次救命処置(心肺蘇生、外傷処置等)を説明し、シミュレータを用いて実施できる。(知識・技能)	◎			

病院実務実習評価原案_H29日病薬版

		薬局	病院	観点				
		薬局	病院	アウトカム	4	3	2	1
【②臨床における心構え】[A(1)、(2)参照]								
SBO-s888	前) 医療の担い手が守るべき倫理規範や法令について討議する。(態度)	◎						
SBO-s889	前) 患者・生活者中心の医療の視点から患者・生活者の個人情報や自己決定権に配慮すべき個々の対応ができる。(態度)	◎						
SBO-s890	前) 患者・生活者の健康の回復と維持、生活の質の向上に薬剤師が積極的に貢献することの重要性を討議する。(態度)	◎						
SBO-s891	医療の担い手が守るべき倫理規範を遵守し、ふさわしい態度で行動する。(態度)	◎ ◎						
SBO-s892	患者・生活者の基本的権利、自己決定権について配慮する。(態度)	◎ ◎						
SBO-s893	薬学的管理を実施する際に、インフォームド・コンセントを得ることができる。(態度)	◎ ◎						
SBO-s894	職務上知り得た情報について守秘義務を遵守する。(態度)	◎ ◎						
				生命の尊厳と薬剤師の社会的使命及び社会的責任	生命の尊厳と薬剤師の社会的使命を自覚し、倫理的行動を遂行し、医療関係法規を遵守し、薬剤師としての責任を自覚する。	患者・生活者の視点に立ち、日常の学びを振り返り記録し、省察すること、自らの体調管理に努める。	生命の尊厳を認識し、患者の権利を尊重する。薬剤師としての義務及び法令を遵守する。患者・生活者のプライバシーを保護する。	薬剤師としての義務及び個人情報保護に関し、十分な知識があるが、日常的なかたで遵守が不十分である。体調管理が不十分である。
				生命の尊厳と薬剤師の社会的使命及び社会的責任	患者・生活者に寄り添い、患者・生活者の利益と安全を最優先して行動する。医療の中で薬剤師に求められる責任を自覚し、自らを律して行動する。さらなる患者ケアの向上に向けた自己啓発を行う。	患者・生活者の視点に立ち、日常の学びを振り返り記録し、省察すること、自らの体調管理に努める。	生命の尊厳を認識し、患者の権利を尊重する。薬剤師としての義務及び法令を遵守する。患者・生活者のプライバシーを保護する。	薬剤師としての義務及び個人情報保護に関し、十分な知識があるが、日常的なかたで遵守が不十分である。体調管理が不十分である。
				生命の尊厳と薬剤師の社会的使命及び社会的責任	生命の尊厳と薬剤師の社会的使命を自覚し、倫理的行動を遂行し、医療関係法規を遵守し、薬剤師としての責任を自覚する。	患者・生活者の視点に立ち、日常の学びを振り返り記録し、省察すること、自らの体調管理に努める。	生命の尊厳を認識し、患者の権利を尊重する。薬剤師としての義務及び法令を遵守する。患者・生活者のプライバシーを保護する。	薬剤師としての義務及び個人情報保護に関し、十分な知識があるが、日常的なかたで遵守が不十分である。体調管理が不十分である。
				生命の尊厳と薬剤師の社会的使命及び社会的責任	生命の尊厳と薬剤師の社会的使命を自覚し、倫理的行動を遂行し、医療関係法規を遵守し、薬剤師としての責任を自覚する。	患者・生活者の視点に立ち、日常の学びを振り返り記録し、省察すること、自らの体調管理に努める。	生命の尊厳を認識し、患者の権利を尊重する。薬剤師としての義務及び法令を遵守する。患者・生活者のプライバシーを保護する。	薬剤師としての義務及び個人情報保護に関し、十分な知識があるが、日常的なかたで遵守が不十分である。体調管理が不十分である。

病院実務実習評価原案_H29日病薬版

		薬局	病院
【③臨床実習の基礎】			
SBO-s895	前) 病院・薬局における薬剤師業務全体の流れを概説できる。	◎	◎
SBO-s896	前) 病院・薬局で薬剤師が実践する薬学的管理の重要性について説明できる。	◎	◎
SBO-s897	前) 病院薬剤師部門を構成する各セクションの業務を列挙し、その内容と関連を概説できる。	◎	◎
SBO-s898	前) 病院に所属する医療スタッフの職種名を列挙し、その業務内容を相互に関連づけて説明できる。	◎	◎
SBO-s899	前) 薬剤師の関わる社会保障制度(医療、福祉、介護)の概略を説明できる。(B(3)①参照)	◎	◎
SBO-s900	病院における薬剤師部門の位置づけと業務の流れについて他部門と関連付けて説明できる。	◎	◎
SBO-s901	代表的な疾患の入院治療における適切な薬学的管理について説明できる。	◎	◎
SBO-s902	入院から退院に至るまで入院患者の医療に継続して関わることができる。(態度)	◎	◎
SBO-s903	急性期医療(救急医療・集中治療・外科治療等)や周術期医療における適切な薬学的管理について説明できる。	◎	◎
SBO-s904	周産期医療や小児医療における適切な薬学的管理について説明できる。	◎	◎
SBO-s905	終末期医療や緩和ケアにおける適切な薬学的管理について説明できる。	○	◎
SBO-s906	外来化学療法における適切な薬学的管理について説明できる。	△	◎
SBO-s907	保険評価要件を薬剤師業務と関連付けて概説することができる。	◎	◎
SBO-s908	薬局における薬剤師業務の流れを相互に関連付けて説明できる。	◎	◎
SBO-s909	来局者の調剤に対して、処方せんの受付から薬剤の交付に至るまで継続して関わることができる。(知識・態度)	◎	◎

(1)、(2)、及び(3)の領域の評価に含まれる。

病院実務実習評価原案_H29日病薬版

	大薬病 学局院	大学	薬局	病院
(2)処方せんに線維基づく調剤、(3)薬物療法の実践のアウトカム ：診断に基づいた薬物療法を患者に対して個別最適化を行い実施する。患者に薬剤を交付した後も、その後の経過の観察や結果の確認を行い、薬物療法の質の向上に貢献する。				
(2)処方せんに基づく調剤				
GIO 処方せんに基づいた調剤業務を安全で適正に遂行するために、医薬品の供給と管理を含む基本的調剤業務を修得する。				
【①法令・規則等の理解と遵守】(B(2)、(3)参照)				
SBO-s910	◎	<SBO-s916-919,925-932と同時に実施する。SBO888, 889もふまえる。>	薬局内の実際の書類や掲示等から薬事関連法規に規定された法的文書等を確認し、その記載、保存、管理を実施する。 ・薬事関連法規を意識して調剤業務全般を体験する。	実習施設での調剤業務の中で薬事関連法規に規定された法的文書等の取り扱いを体験する。 ・薬事関連法規を意識して調剤業務全般を体験する。
SBO-s911	◎	◎	調剤業務に関わる法的文書(処方せん、調剤録等)の適切な記載と保存・管理ができる。(知識・技能)	(1)の領域の評価に含まれる
SBO-s912	◎	◎	法的根拠に基づき、一連の調剤業務を適正に実施する。(技能・態度)	
SBO-s913	◎	◎	保険薬局として必要な条件や設備等を具体的に関連付け説明できる。	
(2)、(3)の領域の評価に含まれる				

病院実務実習評価原案_H29日病薬版

		大薬病	大学	薬局	病院	観点							
		大学	大学	薬局	病院	アウトカム	4	3	2	1			
		【②処方せんと疑義照会】											
SBO-s914	前) 代表的な疾患に使用される医薬品について効能・効果、用法・用量、警告・禁忌、副作用、相互作用を列挙できる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
SBO-s915	前) 処方オーダーダリングシステムおよび電子カルテについて概説できる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
SBO-s916	前) 処方せんの様式と必要記載事項、記載方法について説明できる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
SBO-s917	前) 処方せんの監査の意義、その必要性と注意点について説明できる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
SBO-s918	前) 処方せんに監査し、不適切な処方せんについて、その理由が説明できる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
SBO-s919	前) 処方せん等に基づき疑義照会ができる。(技能・態度)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
SBO-s920	処方せんの記載事項(医薬品名、分量、用法・用量等)が適切であるか確認できる。(知識・技能)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
SBO-s921	注射薬処方せんの記載事項(医薬品名、分量、投与速度、投与ルート等)が適切であるか確認できる。(知識・技能)	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
SBO-s922	処方せんの正しい記載方法を例示できる。(技能)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
SBO-s923	薬歴、診療録、患者の状態から処方処方が妥当であるか判断できる。(知識・技能)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
SBO-s924	薬歴、診療録、患者の状態から判断して適切に疑義照会ができる。(技能・態度)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
		<p>処方監査と疑義照会</p> <p>処方監査と疑義照会を実践する。処方監査・患者情報と医薬品情報に基づき、処方の方の妥当性を判断する。必要に応じて、疑義照会を行うと共に、チーム内で情報を共有する。疑義照会の必要性に気づき、実践し、その内容を適切に記録する。</p>		<p>処方監査と疑義照会</p> <p>処方監査と疑義照会を実践する。処方監査・患者情報と医薬品情報に基づき、処方の方の妥当性を判断する。必要に応じて、疑義照会を行うと共に、チーム内で情報を共有する。疑義照会の必要性に気づき、実践し、その内容を適切に記録する。</p>		<p>薬物療法におけるアウトカムを達成するために、疑義照会とともに、適切な処方提案をする。</p>		<p>患者情報と処方されている医薬品情報に基づき、処方の方の妥当性を判断する。必要に応じて、疑義照会を行うと共に、チーム内で情報を共有する。疑義照会の必要性に気づき、実践し、その内容を適切に記録する。</p>		<p>処方せんの基本的な不備を指摘し、処方箋に従って調剤する。 ※患者情報とは、④患者対応及び薬物療法の実践①患者情報の把握に基づく ※医薬品情報は、薬物療法の実践②医薬品情報の収集と活用に基づく</p>		<p>処方箋とおりに調剤する。</p>	

病院実務実習評価原案_H29日病薬版

	大学	薬局	病院
SBOs933	◎	◎	◎
SBOs934	◎	◎	◎
SBOs935	◎	◎	◎
SBOs936	◎	◎	◎
SBOs937	◎	◎	◎
SBOs938	△	◎	◎
SBOs939	◎	◎	◎
SBOs940	△	◎	◎
SBOs941	◎		◎
SBOs942	◎	◎	◎
SBOs943	◎	◎	◎

	大学	薬局	病院
9		<ul style="list-style-type: none"> ・実際の処方せん調剤業務を行いながら以下の事を体験する。 ○処方せんの記載から正しく医薬品、後発品の選択を体験する。 ○実際の計数・計量調剤業務を体験する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の処方せん調剤業務を行いながら以下の事を体験する。 ○処方せんの記載から正しく医薬品、後発品の選択を体験する。 ○実際の計数・計量調剤業務を体験する。
10		適切な手順で後発医薬品を選択できる。(知識・技能)	
11		処方せんに従って計数・計量調剤ができる。(技能)	
12		錠剤の粉砕、およびカプセル剤の開封の可否を判断し、実施できる。(知識・技能)	
13		一回量(一包化)調剤の必要性を判断し、実施できる。(知識・技能)	
14		注射処方せんに従って注射薬調剤ができる。(技能)	<ul style="list-style-type: none"> ・薬局で取り扱う注射剤の調剤を体験する。 ・注射処方せんに従って処方監査から調剤までを体験する。
15		注射剤・散剤・水剤等の配合変化に関して実施されている回避方法を列挙できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・施設で処方される医薬品に関し、配合変化を確認しながらその機序と回避方法を理解する。
16		注射剤(高カロリー輸液等)の無菌的混合操作を実施できる。(技能)	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療での薬局での注射剤調剤を体験する。 ・注射剤調剤の中で無菌的混合操作を体験する。
17		抗悪性腫瘍薬などの取扱いはにおけるケミカルハザード回避の手法を実施できる。(知識・技能)	<ul style="list-style-type: none"> ・がん化学療法のレジメンチェックと抗がん剤調剤を体験する。 ・注射剤調剤、抗悪性腫瘍薬取り扱いはの中でケミカルハザードの回避操作を体験する。
18		特別な注意を要する医薬品(劇薬・毒薬・麻薬・向精神薬・抗悪性腫瘍薬等)の調剤と適切な取扱いができる。(知識・技能)	<ul style="list-style-type: none"> ・調剤において特別な注意を要する医薬品を確認し、その適切な取扱いを体験する。
19		調製された薬剤に対して、監査が実施できる。(知識・技能)	<ul style="list-style-type: none"> ・調剤業務の中で調製された薬剤の監査を体験する。

処方せんに基づく医薬品の調剤	監査結果に基づき適正な医薬品調剤を實踐する。	監査・調剤において、特別な注意を要する医薬品を取り扱いを行う。調剤業務の中で調製された薬剤の監査を行い、間違いがあれば指摘する。	注射処方せんに従って、無菌的混合操作を実施する。抗がん剤調剤において、ケミカルハザード回避操作を適切に実施する。(主に、病院実習において評価)	計数・計量調剤(散剤、水剤、軟膏など)を正確に行う。一包化、錠剤等の粉砕、適切な賦形等、工夫を必要とする調剤について、適切に実施すると共に、その理由を説明する。	計数・計量調剤が不十分である。ケミカルハザード対象薬の理解が不十分である。
----------------	------------------------	--	---	--	---------------------------------------

病院実務実習評価原案_H29日病薬版

		薬局		病院		観点				
		薬局		病院		アウトカム	4	3	2	1
【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】										
SBO.s944	1 前)適切な態度で、患者・来局者と対応できる。(態度)	◎			◎					
SBO.s945	2 前)妊婦・授乳婦、小児、高齢者などへの対応や服薬指導において、配慮すべき事項を具体的に列挙できる。	◎			◎					
SBO.s946	3 前)患者・来局者から、必要な情報(症状、心理状態、既往歴、生活習慣、アレルギー歴、薬歴、副作用歴等)を適切な手順で聞き取るができる。(知識・態度)	◎			◎					
SBO.s947	4 前)患者・来局者に、主な医薬品の効能・効果、用法・用量、警告・禁忌、副作用、相互作用、保管方法等について適切に説明できる。(技能・態度)	◎			◎					
SBO.s948	5 前)代表的な疾患において注意すべき生活指導項目を列挙できる。	◎			◎					
SBO.s949	6 前)患者・来局者に使用上の説明が必要な製剤(眼軟膏、坐剤、吸入剤、自己注射剤等)の取扱い方法を説明できる。(技能・態度)	◎			◎					
SBO.s950	7 前)薬歴、診療録の基本的な記載事項とその意義、重要性について説明できる。	◎			◎					
SBO.s951	8 前)代表的な疾患の症例についての患者対応の内容を適切に記録できる。(技能)	◎			◎					
SBO.s952	9 患者・来局者に合わせて適切な対応ができる。(態度)	◎			◎					
SBO.s953	10 患者・来局者から、必要な情報(症状、心理状態、既往歴、生活習慣、アレルギー歴、薬歴、副作用歴等)を適切な手順で聞き取るができる。(知識・態度)	◎			◎					
SBO.s954	11 医師の治療方針を理解した上で、患者への適切な服薬指導を実施する。(知識・態度)	◎			◎					
SBO.s955	12 患者・来局者の病状や背景に配慮し、医薬品を安全かつ有効に使用するための服薬指導や患者教育ができる。(知識・態度)	◎			◎					
SBO.s956	13 妊婦・授乳婦、小児、高齢者等特別な配慮が必要な患者への服薬指導において、適切な対応ができる。(知識・態度)	◎			◎					
SBO.s957	14 お薬手帳、健康手帳、患者向け説明書等を使用した服薬指導ができる。(態度)	◎			◎					
SBO.s958	15 収集した患者情報を薬歴や診療録に適切に記録することができる。(知識・技能)	◎			◎					
						患者・来局者 応対、情報提 供・教育	患者からの情 報収集、情報 提供及び患者 教育を実践 する。	患者の薬物療法のアウ トカムを達成するために判 断し、患者から情報収 集する。 患者のニーズを的確に 判断し、それを盛り込ん だ情報提供及び教育を 行う。	患者の病態や状況、高 齢者、妊婦・授乳婦、小 児、障害を持った方など に適切に配慮し、情報 を収集する。 医薬品を安全かつ有 効に使用するための情 報を種々のツールを用 いて患者に提供する。 指導、教育内容を適切 に記録する。 患者の理解度を確認 しながら情報提供を行 う。	患者から薬物治療に係 る基本的な情報(症状、 既往歴、アレルギー歴、 薬歴、副作用歴、生活 状況等)を収集はする いは不十分である。
										患者から薬物治療に係 る基本的な情報(症状、 既往歴、アレルギー歴、 薬歴、副作用歴、生活 状況等)を収集はする いは不十分である。

病院実務実習評価原案_H29日病薬版

		大学	薬局	病院	観点				
【⑤医薬品の供給と管理】					アウトカム	4	3	2	1
SBO-s959	1 前) 医薬品管理の意義と必要性について説明できる。	◎							
SBO-s960	2 前) 医薬品管理の流れを概説できる。	◎							
SBO-s961	3 前) 劇薬・毒薬・麻薬・向精神薬および覚せい剤原料等の管理と取り扱いについて説明できる。	◎							
SBO-s962	4 前) 特定生物由来製品の管理と取り扱いについて説明できる。	◎							
SBO-s963	5 前) 代表的な放射性医薬品の種類と用途、保管方法を説明できる。	◎							
SBO-s964	6 前) 院内製剤の意義、調製上の手続き、品質管理などについて説明できる。	◎							
SBO-s965	7 前) 薬局製剤・漢方製剤について概説できる。	◎							
SBO-s966	8 前) 医薬品の品質に影響を与える因子と保存条件を説明できる。	◎							
SBO-s967	9 医薬品の供給・保管・廃棄について適切に実施できる。	◎◎							
SBO-s968	10 医薬品の適切な在庫管理を実施する。(知識・技能)	◎◎							
SBO-s969	11 医薬品の適正な採用と採用中止の流れについて説明できる。	◎							
SBO-s970	12 劇薬・毒薬・麻薬・向精神薬および覚醒剤原料の適切な管理と取り扱いができる。(知識・技能)	◎◎							
SBO-s971	13 特定生物由来製品の適切な管理と取り扱いを体験する。(知識・技能)	◎							
					供給と管理 医薬品の管理	適正な医薬品の供給と管理を実践する。	発注や補充、棚卸等の業務の中で適切な在庫管理を行う。 ※適切な在庫管理とは、採用および採用取り消し、季節性、曜日、使用頻度、不良在庫の回避、ロット管理等を考慮に入れた管理を指す。	法的に取扱い上の規制を受けている医薬品(劇薬・毒薬・麻薬・向精神薬および覚醒剤原料、特定生物由来製品、放射性医薬品、院内製剤、薬局製剤、漢方製剤など)の管理(発注、供給、補充、保管など)を適切に実践する。	取り扱う医薬品の種類を把握し、取扱いに注意を把握し、発注や補充を行う。

病院実務実習評価原案_H29日病薬版

		大薬病 学局院	大学	薬局	病院	観点					
【⑥安全管理】						観点	アウトカム	4	3	2	1
SBO-s972	1 前)処方から脱薬(投薬)までの過程で誤りを生じやすい事例を列挙できる。	◎	◎								
SBO-s973	前)特にリスクの高い代表的な医薬品(抗悪性腫瘍薬、精神薬、治療薬、使用制限のある薬等)の特徴と注意点を列挙できる。	◎	◎								
SBO-s974	前)代表的なインジケント(ヒヤリハット)、アクシデント事例を解析し、その原因、リスクを回避するための具体策と発生後の適切な対処法を討議する。(知識・態度)	◎	◎								
SBO-s975	前)感染予防の基本的考え方とその方法が説明できる。	◎	◎								
SBO-s976	前)衛生的な手洗い、スタンダードプリコーションを実施できる。(技能)	◎	◎								
SBO-s977	前)代表的な消毒薬の用途、使用濃度および調製時の注意点を説明できる。	◎	◎								
SBO-s978	前)医薬品のリスクマネジメントプランを概説できる。	◎	◎								
SBO-s979	特にリスクの高い代表的な医薬品(抗悪性腫瘍薬、糖尿病治療薬、使用制限のある薬等)の安全管理を体験する。(知識・技能・態度)	◎	◎								
SBO-s980	調剤ミスを防止するために工夫されている事項を具体的に説明できる。	◎	◎								
SBO-s981	施設内のインジケント(ヒヤリハット)、アクシデントの事例をもとに、リスクを回避するための具体策と発生後の適切な対処法を提案することができる。(知識・態度)	◎	◎								
SBO-s982	施設内の安全管理指針を遵守する。(態度)	◎	◎								
SBO-s983	施設内で衛生的な手洗い、スタンダードプリコーションを実施する。(技能)	◎	◎								
SBO-s984	臨床検体・感染性廃棄物を適切に取り扱うことができる。(技能・態度)	◎	◎								
SBO-s985	院内での感染対策(予防、蔓延防止など)について具体的な提案ができる。(知識・態度)	◎	◎								
						安全管理— 医療安全	感染安全の 取組みを理解 し実践する。	インジケント、アクシデ ントなどを分析し、改善 案の提案をする。	必要に応じて医療安全 に関する報告書を作成 する。	自分の経験した調剤ミ スを報告し、その原因と 対策を議論し、実践す る。	医薬品および医薬品以 外に関連した安全管理 体制、手順書等を確認 し、その仕組みを理解 する。
						安全管理— 感染管理	感染対策を理 解し実践す る。	感染対策(予防、蔓延 防止など)について、問 題点を指摘し、具体的 な提案をする。	臨床検体・感染性廃棄 物を適切に取り扱う。	自らの体調管理に留意 し、自らが感染源となら ないよう細心の注意を 払うとともに、スタン ダードプリコーションを 実践する。	

病院実務実習評価原案_H29日病薬版

		大薬病 学局院	大学	薬局	病院	観点				アウトカム	3	2	1	
【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】														
SBOs1013	前)代表的な疾患に用いられる医薬品の効果、副作用に 関してモニタリングすべき症状と検査所見等を具体的に説 明できる。	◎												
SBOs1014	前)代表的な疾患における薬物療法の評価に必要な患者 情報収集ができる。(知識・技能)	◎												
SBOs1015	前)代表的な疾患の症例における薬物治療上の問題を 列挙し、適切な評価と薬学的管理の立案を行い、SOAP形 式等で記録できる。(知識・技能)	◎												
SBOs1016	医薬品の効果と副作用をモニタリングするための検査項 目とその実施を提案できる。(知識・技能)	△	◎											
SBOs1017	薬物血中濃度モニタリングが必要な医薬品が処方され ている患者について、血中濃度測定を提案ができる。(知 識・態度)		◎											
SBOs1018	薬物血中濃度の推移から薬物療法の効果および副作用 について予測できる。(知識・技能)		◎											
SBOs1019	臨床検査値の変化と使用医薬品の関連性を説明できる。	△	◎											
SBOs1020	薬物治療の効果について、患者の症状や検査所見などか ら評価できる。		◎											
SBOs1021	副作用の発現について、患者の症状や検査所見などか ら評価できる。		◎											
SBOs1022	薬物治療の効果、副作用の発現、薬物血中濃度等に基づ き、医師に対し、薬剤の種類、投与量、投与方法、投与期 間等の変更を提案できる。(知識・態度)		◎											
SBOs1023	報告に必要な要素(5W1H)に留意して、収集した患者情報 を正確に記載できる。(技能)		◎											
SBOs1024	患者の薬物治療上の問題を列挙し、適切な評価と薬学 的管理の立案を行い、SOAP形式等で適切に記録する。 (知識・技能)		◎											
SBOs1025	医薬品・医療機器等安全性情報報告用紙に、必要事項を 記載できる。(知識・技能)		◎											

病院実務実習評価原案_H29日病薬版

			大薬病 学局院	大学	薬局	病院
(4) チーム医療への参画 [A(4)参照]						
G10 医療機関や地域で、多職種が連携・協力する患者中心のチーム医療に積極的に参画するために、チーム医療における多職種の役割と意義を理解するとともに、情報共有し、より良い医療の検討、提案と実施ができる。						
【① 医療機関におけるチーム医療】						
SBOs1026	前) チーム医療における薬剤師の役割と重要性について説明できる。	◎		・チーム医療の実践事例を基に、薬剤師の役割とチーム構成員の役割を議論し、要点を整理する。 ・議論の後に、多様な医療チームの構成員としての現役薬剤師の事例解説講義を聴く。 ・事例の分析と討議を通じ、患者中心の医療において、正解を求めるところではなく、何が適切かを考える視点を醸成する。		
SBOs1027	前) 多様な医療チームの目的と構成、構成員の役割を説明できる。	◎				
SBOs1028	前) 病院と地域の医療連携の意義と具体的な方法(連携クリニック、リニカルパス、退院時共同指導、病院・薬局連携、関連施設との連携等)を説明できる。	◎				
SBOs1029	薬物療法上の問題点を解決するために、他の薬剤師および医師・看護師等の医療スタッフと連携できる。(態度)	◎				
SBOs1030	医師・看護師等の他職種と患者の状態(病状、検査値、アレルギー歴、心理、生活環境等)、治療開始後の変化(治療効果、副作用、心理状態、QOL等)の情報を共有する。(知識・態度)	◎				
SBOs1031	医療チームの一員として、医師・看護師等の医療スタッフと患者の治療目標と治療方針について討議(カンファレンス)や患者回診への参加等)する。(知識・態度)	◎				
SBOs1032	医師・看護師等の医療スタッフと連携・協力して、患者の最善の治療・ケア提案を体験する。(知識・態度)	◎				・カンファレンス、種々の医療スタッフとの連携を体験する。 ・「代表的な疾患」を有する入院患者の薬物治療に継続的に関わり、患者に関する情報の収集と伝達、治療計画の考査、治療効果および副作用の評価等他の医療スタッフとの協働を、継続した複数の病棟活動の中で体験する。
SBOs1033	医師・看護師等の医療スタッフと連携して退院後の治療・ケアの計画を検討できる。(知識・態度)	◎				
SBOs1034	病院内の多様な医療チーム(ICU、NST、緩和ケアチーム、褥瘡チーム等)の活動に薬剤師の立場で参加できる。(知識・態度)	◎				
【② 地域におけるチーム医療】						
SBOs1035	前) 地域の保健、医療、福祉に関わる職種とその連携体制(地域包括ケア)およびその意義について説明できる。	◎		・地域医療におけるチーム医療の実践事例を基に、地域の薬剤師の役割とチーム構成員の役割を議論し、要点を整理する。 ・議論の後に、地域における薬業連携の構成員としての現役薬剤師の事例解説講義を聴く。		
SBOs1036	前) 地域における医療機関と薬局薬剤師の連携の重要性を討議する。(知識・態度)	◎				
SBOs1037	地域における医療機関と薬局薬剤師の連携を体験する。(知識・態度)	◎	◎	・処方せん調剤における医療機関と薬局との連携を体験する。 ・合同で開催される研修会やイベントを体験する。		
SBOs1038	地域医療を担う職種間で地域住民に関する情報共有を体験する。(技能・態度)	◎		・地域包括センターや保健所等を通じて地域で連携して行われている医療、介護、福祉の実践を確認するとともに、できるだけ実際の活動を体験する。		
実務実習記録による評価						

病院実務実習評価原案_H29日病薬版

	大薬病 学局院	大学	薬局	病院
(5) 地域の保健・医療・福祉への参画 [B(4)参照]				
G10 地域での保健・医療・福祉に積極的に関与できるようにするために、在宅医療、地域保健、福祉、プライマリケア、セルフマネジメントの仕組みと意義を理解するとともに、これらの活動に参加することで、地域住民の健康の回復、維持、向上に関わることができる。				
【①在宅(訪問)医療・介護への参画】				
SBOs1039	前)在宅医療・介護の目的、仕組み、支援の内容を具体的に説明できる。	◎	在宅医療における薬剤師の業務事例を基に、在宅における薬剤師の役割と責任を議論し、要点を整理する。 ・上記事例を基に、在宅医療や介護を受ける患者の特徴や社会的背景について、議論する。 ・在宅医療に従事する薬剤師の事例解説及び体験、感謝された事例などの講義を聴く。	
SBOs1040	前)在宅医療・介護を受ける患者の特色と背景を説明できる。	◎		
SBOs1041	前)在宅医療・介護に関わる薬剤師の役割とその重要性について説明できる。	◎		
SBOs1042	在宅医療・介護に関する薬剤師の管理業務(訪問薬剤管理指導業務、居宅療養管理指導業務)を体験する。(知識・態度)	◎	<SBO908, 920~924を基本として、933~943では在宅特有の調剤業務を体験。952-958を活用して服薬指導、979~983を活用して安全管理、990~992、995~998を活用して情報収集と提示、1005~1012を活用して薬物療法の考察と提案を体験する。> ・薬局薬剤師による在宅医療、居宅介護の支援業務を患者宅、施設等への訪問も含め継続的に体験する。 ・在宅に関する医療、介護スタッフと情報を共有し、患者をサポートする意義を理解する。 ・医師やケアマネジャーへの報告や提案を体験する。	実務実習記録による評価
SBOs1043	地域における介護サービスや介護支援専門員等の活動と薬剤師との関わりを体験する。(知識・態度)	◎		
SBOs1044	在宅患者の病状(症状、疾患と重症度、栄養状態等)とその変化、生活環境等の情報収集と報告を体験する。(知識・態度)	◎		
【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】				
SBOs1045	前)地域保健における薬剤師の役割と代表的な活動(薬物乱用防止、自殺防止、感染予防、アンチタバング活動等)について説明できる。	◎	薬の週間などにおける地域薬剤師会の取り組みや学校薬剤師のアンチタバングや薬物乱用防止教育などの活動事例を学び、可能であれば、積極的に参加し、対象者への教育活動を行う。 ・医療従事者として自分自身の感染予防、ハンデミックに対する感染防止対策について議論し要点をまとめる。	
SBOs1046	前)公衆衛生に求められる具体的な感染防止対策を説明できる。	◎		
SBOs1047	3 学校薬剤師の業務を体験する。(知識・技能)	◎	学校薬剤師の指導のもと学校薬剤師業務を体験する。	
SBOs1048	地域住民の衛生管理(消毒、食中毒の予防、日用品に含まれる化学物質の誤嚥誤飲の予防等)における薬剤師活動を体験する。(知識・技能)	◎	地域で行われている薬剤師の関与する保健康生活動(薬物乱用防止活動、禁煙活動、認知症サポート等)を確認する。 ・実習中に行われる地域の活動に積極的に参加する。	実務実習記録による評価

病院実務実習評価原案_H29日病薬版

		大薬病 学局院	大学	薬局	病院
【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】[E2(9)参照]					
SBOs1049	前)現在の医療システムの中でプライマリケア、セルフメディケーションの重要性を討議する。(態度)	◎	・薬剤師によるプライマリケアの提供、セルフメディケーションについて議論し、その要点を整理する。 ・模擬生活者との対応を通して、以下の事を学習する。 ○一般用医薬品の選定に必要な情報の聞き取りを行う。 ○模擬薬局者の状態の把握と評価を行い、ニーズにあった適切な対応を行う。 ○一般用医薬品、薬局製剤(漢方製剤を含む)、要指導医薬品を有効に、安全に使用するための情報提供を行う。 ○血圧測定、血糖値測定等の簡易検査の手法を理解し、得られた情報の評価を行う。 ○得られた情報及びその情報を基に評価した内容、提供した情報を薬歴に適切に記録する。 ○代表的な生活習慣の改善についてのアドバイスを行う。		
SBOs1050	前)代表的な症候(頭痛・腹痛・発熱等)を示す薬局者について、適切な情報収集と疾患の推測、適切な対応の選択ができる。(知識・態度)	◎			
SBOs1051	前)代表的な症候に対する薬局製剤(漢方製剤含む)、要指導医薬品、一般用医薬品の適切な取り扱いと説明ができる。(技能・態度)	◎			
SBOs1052	前)代表的な生活習慣の改善に対するアドバイスができる。(知識・態度)	◎			
SBOs1053	薬局製剤(漢方製剤含む)、要指導医薬品・一般用医薬品、健康食品、サプリメント、医療機器等をリスクに応じ適切に取り扱い、管理できる。(技能・態度)	◎		・一般用医薬品の販売を行う薬局で、以下の販売業務や健康相談業務を体験する。 ○店舗で販売している一般用医薬品、健康食品、医療機器等について、特徴や注意点等について確認する。 ○第一類医薬品、要指導医薬品等、法規制に則った薬局での販売業務を体験する。 ○実際の店頭での来局者の健康相談を体験し、指導薬剤師と一緒に来局者個々の症状や生活習慣、環境などから受診動向や一般用医薬品販売などの対応を体験する。 ○来局者に生活習慣の改善や疾病の予防の重要性を認識させその具体的な指導を体験する。 ○地域住民に対し、疾病の予防や健康維持の啓発活動を体験する。 ＜SBOs953 991 992を活用して、多くの来局者に対し継続して体験する。＞	
SBOs1054	来局者から収集した情報や身体所見などに基づき、来局者の病状(疾患、重症度等)や体調を推測できる。(知識・態度)	◎			
SBOs1055	来局者に対して、病状に合わせた適切な対応(医師への受診勧奨、救急対応、要指導医薬品、一般用医薬品および検査薬などの推奨、生活指導等)を選択できる。(知識・態度)	◎			
SBOs1056	選択した薬局製剤(漢方製剤含む)、要指導医薬品、一般用医薬品、健康食品、サプリメント、医療機器等の使用方法や注意点などを来局者に適切に判りやすく説明できる。(知識・態度)	◎			
SBOs1057	疾病の予防および健康管理についてのアドバイスを体験する。(知識・態度)	◎			
【④災害時医療と薬剤師】					
SBOs1058	前)災害時医療について概説できる。	◎	・災害時における薬剤師の役割について、議論し、要点を整理する。可能であれば、災害時に活躍した薬剤師等の話を聞いて討議する。		
SBOs1059	災害時における地域の医薬品供給体制・医療救護体制について説明できる。	○			
SBOs1060	災害時における病院・薬局と薬剤師の役割について討議する。(態度)	○			
実務実習記録による評価					
実務実習記録による評価					

改訂モデル・コアカリキュラム及び薬学実務実習に関するガイドラインについての説明会等実施状況

開催日	都道府県	開催場所	会の名称	対象者	人数	特記事項
5月20日(土) 17:00~18:00	秋田県	ホテルサンルーラル大湯	第53回秋田県病院薬剤師会総会学術講演会 「専門・認定薬剤師制度と薬学教育について」	病院薬剤師	約150名	
6月11日(日) 9:00~9:50	青森県	ホテルニューキャッスル	東北ブロック第7回学術大会 「改訂コア・カリキュラムに準拠した病院 実習とその評価」	病院薬剤師	約50名	
6月17日(土) 12:30~16:30	東京都	日本薬学会長井記念ホール	第55回通常総会 「病院実務実習について」	病院薬剤師	約150名	
6月21日(水) 19:15~20:45	北海道	旭川薬剤師会館 他道内18会場(サテライト)	第3回北病薬病院薬学カンファレンス 「医療をリードする薬剤師となるために -改訂コア・カリキュラムによる実務実習を中心に-	病院薬剤師	約400名	web配信
7月1日(土) 15:10~17:10	鹿児島県	南日本新聞会館	医療薬学フォーラム2017 「ここまでは知っておこう!!新しい病院・ 薬局実習とその評価」	薬剤師	約100名	シンポジウム
8月27日(日) 9:40~11:10	群馬県	前橋商工会議所会館	関東ブロック第47回学術大会 「改訂コア・カリキュラムに準拠した実習と その評価」	病院薬剤師	約60名	
9月17日(日) 14:30~15:30	宮崎県	シーガイアコンベンション センター	第78回九州山口薬学大会 「改訂モデル・コアカリキュラム説明会」	薬剤師	約30名	
9月28日(木) 19:15~20:15	大阪府	AP大阪梅田茶屋町	大阪府病院薬剤師会第2支部研修会	病院薬剤師	約120名	
10月8日(日) 13:45~16:15	東京都	JPTower ホール&カンファレンス	第50回日本薬剤師会学術大会 「改訂薬学教育モデル・コアカリキュラムに 基づく実務実習に向けて」	薬剤師	約120名	シンポジウム
10月21日(土) 14:00~16:30	千葉県	千葉県教育会館	千葉県病院薬剤師会 「薬学実務実習に関する説明会」	病院薬剤師	約30名	
10月28日(土) 13:00~16:30	東京都	日本薬学会長井記念ホール	平成29年度地方連絡協議会 「薬学実務実習への取り組み」	病院薬剤師	約80名	
11月3日(金) 9:00~11:00	千葉県	東京ベイ幕張ホール	第27回日本医療薬学会年会 「薬学実務実習連絡会議報告 -適切な実習評価を行うために-	薬剤師	約180名	シンポジウム